

平成29年度 大阪府立大手前高等学校第3回学校協議会議事録

平成30年2月14日(水)
14:00～16:00
府立大手前高等学校校長室

- 1 開会・校長挨拶
- 2 会長挨拶
- 3 委員・出席者紹介
- 4 協議
 - (1) 生徒状況・行事等について
 - (2) 平成29年度 学校経営計画及び学校評価(案)について
 - (3) 平成30年度 学校経営計画(案)について
 - (4) 学校診断集計結果について
 - (5) 学校運営協議会について
 - (6) 自治会生徒(代表)との協議

配付資料

- ・平成29年度 学校経営計画及び学校評価(案)
- ・平成30年度 学校経営計画(案)
- ・学校診断集計結果
- ・学校運営協議会の資料

6 委員からの主な意見

<学校経営計画について>

意見 遅刻指導について、理由があって遅刻する生徒には、特別指導、個別指導等にも配慮が必要である。これは成績に関しても同様で、内規的には単位認定ができないという状況にあっても、個別の事情を含めて判断することが必要である。

<学校教育自己診断の結果について>

意見 HPを変更したことで教育活動や情報を知る上で役立っている。
生徒の「ほかの先生が授業を見に来る」「自分の考えをまとめたり発表する力がついた」などの数値が向上しているのはよいことである。バディシステムの採用により、教員相互の授業見学が増加したこともいいことである。こういったことにより、授業改善が進み、アクティブラーニングで積極的な学びと変化している。

<その他>

意見 ・2学期制について、半期認定をおこなっていることなどメリットも多い。特

に、2年生後期にクラス替えを行うことで受験モードのスイッチが入る。このことは本校独自のよいシステムだといえる。一方、2学期制・半期認定についての理解がまだ薄い部分もあるかもしれない。たとえば、部活動では、3学期制の学校に合わせて公式戦が組まれるなどのデメリットもある。部活動を一生懸命やっている教員にとってはしんどいこともあるかもしれない。少数派の人が納得しなければせっかくのいいアイデアも意味がないので、学校全体で考え、すり合わせも必要かもしれない。

<自治会生徒との協議>

- 生徒 大手前は勉強だけではなく、部活や行事も頑張れるところである。
先生は質問にいつでも答えてくれる。
2年のクラス替えを機に頑張れる。
時代に合わせた校則が欲しい。
携帯電話の校内での使用を許可して欲しい。
カーディガンの素材などを変えたい。
- 意見 規則を変えることは大変なので、運用方法を変える。
カーディガンはもともと内側に着るもの。
携帯電話のカメラ機能で掲示物を写すことについて、機器に頼らず、メモをとるのは良いこと。